

第6回品川区文化芸術・スポーツ振興ビジョン策定委員会 議事概要

日時：平成22年1月28日 9:30～11:30

場所：品川区役所 議会棟第一委員会室

議事次第

1 開会

2 委員長挨拶

委員長

- ・ 昨年秋には民主党政権交代があり、事業仕分けなどの逆風があったが、文化やスポーツの重要性が否定されたわけではない。政策方向として国が丸抱えであるのではなく地域や民間でやっていく方向を模索しなさいというメッセージだと思う。品川区の地域レベルでどのように振興していくかをきちんと準備していくことが、地域が発展していくよいスタートになると思う。ビジョンは作って終わりではなく、それを振興して初めて意味があるものなので、今回の議論を実行レベルで継続できるようにしていただきたい。また今までのご協力に感謝する。

3 文化芸術・スポーツ振興ビジョン素案(案)に対するパブリックコメントについて

委員長

- ・ 前回、皆様に素案を検討して頂いた後、パブリックコメントとして区民の方からのご意見を頂いた。その内容を行政の委員会の方々や事務局とも検討したが、細かい表現以外は大幅な内容変更は行っていない。区民の方々からの貴重なご意見なので、事務局からその内容と回答を説明する。
- ・ 配布の第5回議事概要について、お気づきの点や修正すべき点があれば事務局までお願いしたい。

事務局 パブリックコメントの応募状況と内容について、資料に基づき事務局より説明

委員長

- ・ 全般的に「良い方向で書かれているから頑張れ」との意見が多い。また、個別の施策についての意見が多かったが、ビジョンは個別の具体的な計画を示すものではないので、今後このビジョンを実施する段階の施策で反映していく、というかたちでお答えする。

事務局

- ・ 区がビジョンを決定した段階で、決定した旨の広報とあわせて、寄せられたご意見を公表させていただき段取りとなる。

委員長

- ・ この区民からのご意見について、意見や感想があればお願いしたい。

委員

- ・ ビジョンへの期待と、さらに具体的に進めて欲しい提案が多くあり、有難いことと思う。
- ・ 今後、このようなご意見をどのようなかたちで具体的に計画していくのか、そのために検討組織か何かを設けるのかどうか、今後の流れを知りたい。

事務局

- ・ ビジョンが決定した後、具体的な施策の検討にあたっては、区の長期計画や実施計画、予算編成などを通じて明らかにしていく作業工程となる。
- ・ ビジョンの進捗状況を踏まえて施策に活かしていく観点から、ご意見を頂戴するような場を設置することも考えている。

委員

- ・ ビジョンでは、既存施設の有効活用という程度の記述だが、ご意見の中には、総合的な文化施設があったらいい、「きゅりあん」の予約が取りにくいなど、施設の充実や新たな整備を希望する声も強いと感じた。
- ・ パブリックコメント応募者の中でも、区政モニターの21人は性格が異なると思う。それを除くと10人では少ないと感じる。区民に広く意見を求める、意見を言いやすい仕組みは引き続き課題ではないか。応募状況について、事務局の考え方を聞きたい。

事務局

- ・ 31件は、区政モニター集会のほか様々なところに声をかけて得たもので、貴重なご意見をいただいたと考えている。数の多少については種々考えはあると思うが、頂いた意見をしっかりと受け止めてこれからの施策に活かしていく必要があると考えている。
- ・ 意見を募るための働きかけについては、区の広報誌、ホームページ、施設でのご案内をする他、施設に来られるスポーツや文化団体の方々にもご意見をお寄せいただきたいと話をさせていただいている。また、本日ビジョンの答申がなされ、決定となれば、さらに広く周知していきたいと考えている。

委員

- ・ 我々の会でも勉強会を開き、基本構想や長期基本計画のときと同様に検討したが、振興ビジョンとしては、これで充分ではないかということで今回は意見を出さなかった。具体的なものはビジョンからは外すべきだろうし、逆に、議員の立場としては、各議会で、これから作っていく施策に対していろいろな検討を要望していくべきと考えて

いる。今回のいろいろなご意見には、我々も同じ意識を持っている。この素案に対しては、基本的に充分納得している。

委員長

- ・ 具体的な個別計画になると賛否両論が出てくると思う。ビジョンは大きな方向性を示すものなので、(意見が)たくさん集まるということではないかもしれない。それでも読んでいただいた方は、かなり詳しく読んで頂けたことが成果かなと思う。

委員

- ・ この応募状況を見て、私は意外に反応があったと思った。これだけのコメントを書くのは大変なエネルギーが要る。区政モニターはある程度、関心の高い方だが、それ以外でも10人の方が意見を出している。結果的に良かったと思う。しかも、肯定的な考えをお持ちいただいている。大変心強い。今後もこのようなかたちで、もっと色々なご意見が我々の活動にコミットして頂ければ大変具合が良いと思う。1ヶ月の短い期間でこれだけのコメントを頂いたのは良かったと思う。

委員長

- ・ パブリックコメントに関する対応についてもご賛同を頂いたので、ビジョン素案を区長への答申として確定する。

4 答申

委員長より、区長へ答申

濱野区長挨拶

- ・ 4月から9月にかけて6回にわたる議論に対して心より感謝申し上げます。この答申に沿って、これからの品川区文化芸術・スポーツ施策を作っていく。
- ・ 文化芸術、スポーツの営みは、もともと個人の喜びのために活動することが始まりである。その意味で、行政が一定の方向で持ち込んでいく類のものではない。一方で、人々の楽しみをひとつの共通項として人と人とが結び合い、交流が始まる、地域と地域が交流する、あるいは、地域がまとまるという副次的効果もあると思う。従って、行政としてはこの副次的な効果をどのように地域に還元できるか、そういう仕組みを整えて、用意することで、文化芸術・スポーツの営みが地域の活力になっていく、そんな化学変化のような、化学触媒の役割を、行政が出来ると良いと思う。
- ・ そういった意味で、皆様の議論を頂いた答申を、仕組みづくりに大いに活用させていただき、これに沿った施策を続けていきたい。
- ・ 品川区は、来年度に芸術祭を予定している。その中でもこの答申を活かし、区民の皆様の意向を十分に汲み取りながら施策を展開していきたいと思う。9ヶ月の間、委員の皆様の熱心な議論に対して深く感謝申し上げます。挨拶とする。

委員長

- ・ それでは、委員の皆様から一言ずつ、感想や今後のことなどお話し。

委員

- ・ 多くの方から熱心な意見を頂き、たくさんの委員がいる中で出来たビジョンをもとに、4月からイベントが行われたりしていくことは有意義で、委員になってよかったと思う。
- ・ これからも多くの区民の方々が文化に触れていけたらよいと思う。(活動する中で)ビジョンがあったからできた、と感じる方は少ないと思う。ビジョンを読んだ人しか、このビジョンがあったから文化に触れることができた、とは感じないかもしれないが、少しでも多くの人々が文化に触れられて、楽しいとか良かったと思えるビジョンが出来たことはとても良かったと思う。

委員

- ・ 100年に一度の大不況といわれる中、家庭でも財布のひもをきつく締めて、無駄なお金を使わないようにして、娯楽や文化が家庭から削られていくのではないかと思う。品川区は、振興ビジョンが出来たので、ぜひ独自性のある文化振興施策をこれからもやっていただきたい。パブリックコメントも、20～30代の若い男女から意見をいただけたことはとても良いことだと思った。

委員

- ・ コメントにもあったように施設の内容や参加費など、地域の方がよくわからないということがあるようだ。我々指導する側も、会を運営するものにとっても、PRの仕方を考えて、なるべく多くの人々が参加できるように努めていきたい。

委員

- ・ 今回策定したビジョンは、これからみんなの拠りどころになると思う。次々と振興のための施策が打ち出されたとき、区民がどう反応するかわからないが、どこかで迷ったときに、立ち返る基本になると思う。これに携われたことを幸せに思うと同時に、品川区がこのビジョンを持ってどんな未来を迎えるかということも、区民として楽しみにしていきたい。

委員

- ・ 品川区の議会から提出した、まちづくり条例と、品川区の基本構想を併せた考えの中で、このビジョンが出来たことは、条例を最初から検討してきた一人として非常に喜ばしい。ビジョンはこれからどう展開していくかが大事だと思う。
- ・ 11月に駅伝大会やマラソン大会を開催し、地域ににぎわいが出た。これからもいろいろな展開、芸術祭、これからの施策等、今後の展開を期待しているし、要望も出していこうと考えている。

委員

- ・ 策定委員会に加わり答申が出来たことを誇りに思う。区議会議員の立場で、今度は具体的で素晴らしい施策に結びつけられるよう提案をしていきたい。

委員

- ・ ビジョン冒頭に「権利としての文化芸術・スポーツの背景」とあるが、すべての人にこの権利をどう保障するのかというところに品川区の役割があると思う。区の役割を「一層区民の活動を支援し、誘導牽引していく役割」とあるが、何を指すかがよくわからなかった。
- ・ 個人の営みである活動が、にぎわうまちづくりだけに目的が特化されると、活動の制約につながることは問題だと思う。ぜひ活動の保障に繋げて頂きたい。
- ・ 不安定な仕事で苦しむ若者や障害者、高齢者、長時間勤務のサラリーマンなど、どうしてももっと文化芸術・スポーツに参加できるのか、どういう環境が必要なのか、方向性や整備の必要性がある。アンケートでも出ていた、練習場所が少ない、活動スペースが足りない、仕事が忙しい、といった人に応えることが今後必要ではないかと思う。引き続き品川区にはこの視点を強く求めていきたい。

委員

- ・ パブリックコメントの中に多く見受けられる、グラウンドや施設の予約がなかなか取れないという意見について、ぜひ真摯に受け止めて頂きたい。
- ・ 区民の皆さんに対して、ひとつのステージができたのではないかと感じている。文化や芸術を後世に伝えることができる品川、スポーツが盛んな品川になるために、私も議員として全力で頑張っていきたい。

委員

- ・ 素晴らしい答申が出来たこと皆様のお力の賜物と思う。委員会での皆様の発言を聞き私自身大変勉強になった。貴重な経験をさせていただき感謝する。

委員

- ・ パブリックコメントは、意見をいただいた人数ではなく、深く考えて文章にまとめてくださった気持ちを大切にしたい。
- ・ 第2章に「“おせっかい”という言葉が良く似合うまち」という箇所について。私たちの活動を認めていただいて、載せていただいたのかなと感謝している。
- ・ 4ページの「地域交流の推進」の箇所で、「積極的に参加できる雰囲気や仕組みを整える」という文章は、私たちが活動していく上で、とても深く胸に刺さる文章だと思う。これを常に念頭におき、新旧区民と一緒にやっていけたらいいなと思う。
- ・ スポーツは数字にすぐ表れて、これだけの人に参加したということがすぐにわかるが、伝統的なものや文化はなかなか浸透しないし、遅々として進みにくい面があるが、このようにビジョンに取り上げていただいたことを感謝している。

委員

- ・ このような機会に参加し、議論させていただき感謝している。パブリックコメントを読み、区民の皆さんが、今後ビジョンに沿った施策に期待しているという声が伝わってきた。これが品川区の活力の源、と非常に心強く思った。

- ・品川区は、物理的にも地域的にもいろいろ難しい条件がある中で、これを具体的な施策としてどう実行していくかがこれからの大きな課題かと思う。知恵を出し合い一生懸命やっ払いこうという機運があればそれを乗り越えられると思う。
- ・メディア関係の業務に携わっている立場からすると、いろいろな行動や活動をまず知り、知ってもらって、知った人が今度は参加する、その参加した人はまたそれを知らせる、という良い方向のスパイラルに回っていくことがよいことだと思う。
- ・知ってもらうためには、紙やチラシなど受動的なものと、ホームページやインターネットなど能動的なものがあるが、その両方でお知らせしなくてはいけない。映像メディアを使って伝えることはインパクトがあることなので、私どもはその分野で貢献したいと思う。それが区民の生活に溶け込んで、生活が豊かになっていくことにつながると期待している。

委員

- ・難しいテーマとっていたが、ビジョンの具現化のため一過性のイベントでなく地道に恒久的な施策を実行することが必要と痛感している。今後施策がどう実行されていくのか見守っていききたい。

委員

- ・立場上、体育指導委員会としてで、区民と一緒にスポーツをさせていただいている。今回、地域スポーツクラブ「スポクラ品川」を設立した(3月28日)。今後、答申を踏まえているいろいろな形で活用させて頂く。

委員

- ・私ども文化振興事業団は大きな方向性を頂いたと思う。まさしく私どもの役割をきちんと考えて実行に移す、これがスタートであると思う。行政と区民をつなぐ役目をしっかりと果たしていききたい。

委員

- ・スポーツ協会には27団体、2万の方が登録している。その2万人が2人に声をかければ4万人、それがまた2人に声をかければ8万人、というようになれば理想的である。チーム競技では、内部では団結心が生まれるが、その力をどのように外に働かせていくかは難しいことだと思う。「スポクラ品川」などのスポーツクラブを通じて2万人の人材をいかに活かしていくかが課題である。素案の7つの目標を実現できるよう協力していく。

山田副区長

- ・9ヶ月間の活発な議論で率直な発言もあり、良い委員会運営がされたのではないかと思う。パブリックコメントも肯定的で、期待を込めての個別施策の提案も頂いたので、これを具体的に体現していくのは、これからの取り組み次第だと実感している。
- ・文化芸術もスポーツも、人の心の豊かさを目指して、かつ、まちの活性化につなげるという大きなテーマを頂いたのでしっかりと受け止めてやっていきたい。

委員

- ・事務局を務めさせていただき、9ヶ月間皆さんの協力で素案を答申ができたこと、心よりお礼申し上げます。また、このように一言ずつ頂いたものも、今後の施策を展開する中で丁寧に拾いつつ進めていきたい。今後ともご協力を願う。

副委員長

- ・時間的な制約の中で、活発な議論を頂き立派な答申が出来たことを喜んでいる。
- ・パブリックコメントで文化スポーツは個別案件との意見があったが、ビジョンなので意見が出にくいかもしれないが、個別案件になれば多くの要望が出てきたのではないかと思う。たとえば、中央教育審議会の「知的循環型社会を目指して」という答申では、自分が学習したことを他の人に伝え、また伝えた中で学習課題を見つけまた学習するというように、知識が循環するような社会を目指す、という内容である。今回の答申もこれと似て、個人のものだけではなく、外に向かって発信する品川区をぜひ作って頂きたい。それが地域の活性化につながると思う。
- ・今後の施策も、単に事業を提供するのみでなく、どのような地域社会・区民を育てるか育てるといっておこがましいが、このようなビジョンを持って個別事業に入って頂きたい。更なる文化スポーツの発展を期待する。

委員長

- ・短い期間で熱心に議論をして頂き感謝する。
- ・ビジョンが出来てこれで終わりではなくて、これをいかに実施につなげていくか、実践していくかということが重要である。行政任せにすると、そこで決められた事業だけが引き継がれていくということになりがちで、その事業を何のためにやっているかという目指すところが抜け落ちてしまうことが行政の常であり、そうならないように今回は議会のメンバーの方も委員としているので、議会や市民の目で常に監視をし、監視するだけではなく一緒に参画して推進していくその体制づくりが必要と思う。
- ・1年前に浜松市で、私が委員長をやって浜松をクリエイティブシティーにしていこうというビジョンを書いたが、1年も経たないうちに行政の担当者は一部だけを摘み食いをして、市政100周年にあわせて、ユネスコのクリエイティブ・シティズの認定を取りに行った。新しく、自ら作る創造都市の施策でいこうというビジョンを作ったにも関わらず、その施策を打つより先に「ユネスコの申請に行くための予算を取りましたので協力してください」ということだった。ビジョンの一部だけを取り出すのはビジョンを作った理念に反するというので今戦っている。
- ・品川区の場合は条例まで作っているのもっと拘束力があると思うが、きちんと監視しないと行政は危ない(笑)。今回、区長がこういう場に来て頂くことはとても重要。今回、副区長・区長・担当部長、そして答申の時も区長が自ら話も聞いて頂いたということで、品川区の場合、このまま行けば大丈夫と思うので、決して行政のお任せにせず進めて頂きたい。

濱野区長

- ・ ビジョンを作ったあと、これが形骸化されて事業だけが...ということがないように、ビジョンの摘み食いをして行政の都合の良いように使う、ということがないようにする。
- ・ この精神が続いていくように、しっかりと受け止めていきたい。それから往々にして役人が自分の都合の良いようにピックアップしてそこをクローズアップしていくことは結構あるので、それは駄目で、摘み食いではなくてまとめ食いをしていきたいと思う（笑）
- ・ 行政の役割として、場の提供が重要、という話があった。文化芸術、スポーツでは、活動する場を提供することは重要な役割と思う。一方で、大都市においては場所が限られるというのも厳しい現実で、地方都市で広大なスペースがある所ではいつでも運動や試合ができるというような環境かもしれないが、品川ではなかなか叶わない。
- ・ ご利用される方々が連携をしていただいて、お互いに調整をして頂くということも大変重要なことになると思う。そうしないと、特定の日に希望が集中して、結局は使えるのは1組で、あとの曜日はガラガラになっているという効率の悪い使い方になってしまう。ご利用になる方々がお互いに情報を交換しながら、ゆるいネットワークで、譲り合いながら使っていただくということが大事になると思う。
- ・ その意味でも今回、スポーツ、芸術で人あるいは団体が結びつくということも重要と思っている。同時にそういう団体のネットワークが強固になると、今度は新規参加者がはじかれてしまうので、そういった新規参加の人たちも入ってこられるような、スポーツクラブがその精神を具現化していく一つのパターンになるのではないかと思うが、ゆるいネットワークがあって、皆さんがいろいろな施設をシェアしながら使えることが望ましいと思う。そういう意味でもこのビジョンがあれば、これをひとつの拠り所としてそういったことが展開できると思う。そういう意味で実務的にも大変ありがたいことと思う。
- ・ ビジョンが出来たのでこれをしっかり具現化していく施策をとっていく。

事務局

- ・ ビジョンについては、今年度中に策定の予定であり、印刷製本をしたものが出来次第お送りさせていただく。

6 閉 会

委員長

- ・ 本委員会で無事にビジョンを纏めることができた。
これで、「品川区文化芸術・スポーツ振興ビジョン策定委員会」を終了する。